

サッカー分科会

基調提案

「じゃまじゃまサッカーからクワトロゲームへの道」

山本雅行（大阪支部 菅原東小学校）

実践提案

「新任4年目もじゃまじゃまサッカー

～作戦・戦術づくりに向けて、じゃまじゃまサッカーで『コート認識』を育てたい～」

日名大悟（大阪支部 柏原市立国分小学校）

参加者の感想（大会速報「かもがわ」より）

・いつも「じゃまじゃまサッカーの今後の課題について」考えると時間が足りない感じである。時数が少なくなっている中で、攻防入り乱れるゲームに発展させる指導を考えていくには無理がある感じがする。もう一つは、サッカーの学習で何を教えるのか、そこをはっきりさせていかなくては、「じゃまじゃまだけでよい。」「いや、攻防切り替え型の体験あってこそ。」という論議が成り立たない感じもする。（静岡・Kさん）

・実践&基調提案があった。私はここ数年サッカー分科会に参加している。そこで出会った「じゃまじゃまサッカー」に今夢中になっている。自分でも3年生を2年続けて持ち、実践したところ、子どもたちも夢中になっていた。

この分科会では「攻防入り乱れる」サッカーにつなげることが、数年来の課題になっている。どんな討論になるか楽しみだし、自分でも前向きに参加したいと思っている。（山形・Tさん）

・学習ノートから生徒が目的をもってじゃまじゃまサッカーに臨んでいるのが伝わってきました。ゴールを移動するのは、とてもおもしろとは思ったのですが、指摘されていたように、じゃまじゃまゾーンを突破することが目的となっていくのが問題かと思いました。

・技能と思考力を段階的に学習させるために、非常に有効な方法の一つであると感じた。子どもの発達段階、実態に合わせて形を変えていくことで、よりよく授業に取り入れたいと思う。コート、ボール等を含めた運動の特性を子どもたちが見つけ、自分のものにしていくことは大切なことであるが、なかなか実践できていなかったように思う。パス、ドリブル、シュートの中で、どう身に付けていくか考えていきたい。(京都・Yさん)

・いろいろな形でじゃまじゃまサッカーを試してみて、自分で経験することでより一層深く考えることができました。まだまだ知識がなく、みなさんの意見をただただ聞いて、少しでも自分のものにすることで精一杯でした。まだまだわからないことだらけなので、もっと勉強したいと思います。(北海道・Gさん)

・じゃまじゃまサッカーの指導内容、おもしろさが少しわかりました。段階的に難易度を上げていくことにより、子どもたちがサッカーのおもしろさが伝えることができました。
(北海道・Tさん)

・課題が山積みであることを実感しました。「サッカーで教えるべき内容を何とするか」しっかり考えて実践を組んでみたいと思いました。そして、子どもたちにぶつけてみて、結果を出し、議論できるように、深められるようにしたいです(実践報告者に決まりましたので)。
サッカーはおもしろいです。3日間お世話になりました。(熊本・Kさん)

・最終日となり、3日間のまとめについて話し合った。「サッカーで教えるべきこと」について昨日の実技から出た課題をまとめていったが、課題があまりにも多く、頭をかかえてしまった。
しかし、はっきりとしたこともあり、今後持ち帰り、実践してみたいと思った。「攻防の入れ替わるサッカーへ」と、「サッカーで教えるべきこと」を中心に考えていきたい。(山形・Tさん)